



群私幼

No.
1
7
3

2016年(平成28年)1月20日発行
 (一)群馬県私立幼稚園・認定こども園協会

発行人 原 徳明
 編集人 高月 広喜

群私幼事務局/☎371-0854 前橋市大渡町1-10-7
 群馬県公社総合ビル6F 私学センター内
 TEL.027-280-6206
 FAX.027-280-6208
 URL・http://www.gunshiyou.jp/



平成28年度 教員免許状更新講習 受講対象者について

平成28年度教員免許状更新講習の受講対象者は、普通免許状または特別免許状を有し、平成29年3月31日が修了確認期限となる方と、平成30年3月31日が修了確認期限となる方が対象となります。修了確認期限を必ず確認してから申し込んで下さい。

平成29年3月31日が修了期限の方

生 年 月 日	
昭和36年4月2日	～昭和37年4月1日
昭和46年4月2日	～昭和47年4月1日
昭和56年4月2日	～昭和57年4月1日
修了確認期限	免許状更新講習の受講期間
平成29年3月31日	平成27年2月1日 ～平成29年1月31日

平成30年3月31日が修了期限の方

生 年 月 日	
昭和37年4月2日	～昭和38年4月1日
昭和47年4月2日	～昭和48年4月1日
昭和57年4月2日	～昭和58年4月1日
修了確認期限	免許状更新講習の受講期間
平成30年3月31日	平成28年2月1日 ～平成30年1月31日

※群私幼では、現時点で夏の中級・上級講座ならびに研究委員研修会において、それぞれ6時間分の選択講習に充当させる予定です。また、県内の教員養成系の大学・短大等で実施される所があります。詳しいことは、各自で問い合わせして下さい。



「カラダ、感じる。いっぱい！」

11月7日に高崎ワシントンホテルにてニューリーダーの会主催の研修会が行われました。今回のテーマは財務諸表の読み方、マイナンバーの取り扱いについてです。経営に携わる立場としてぜひ身に付けておきたいテーマです。特にマイナンバーについては、そうだったのか！と気づかされること、がたくさんあり、参加者からも活発に質問や意見が交わされていきました。大勢の研修会では受け身になりがちですが、少人数ならではの多くの意見が言い合える充実した研修会になりました。



(茂木/記)

ニューリーダーの会 研修会

CONTENTS

- ② 祝平成28年 新春に寄せて
 *原 徳明 群私幼協会長
 *半田良幸 学事法制課長
- ③ 研究指定園・公開保育(10 / 21)
 *元総社幼稚園
- ④ 幼稚園訪問記
 *むつみ幼稚園
 ほほえみインタビュー
 *大間々南幼稚園
- ⑤ 幼児教育センターの保育相談 Q&A
 連載「フロムぐんまちゃん」
- ⑥ 編集委員の雑記帳
- ⑦ 私のとおきおきの時間
 研修日より
 *新採研(後期I)(10/22)
 *教育課程研究協議会(10/26)
- ⑧ *第一次設置者園長研修会
 (11/16)
 *群私幼研究委員研修会
 (12/25)

新春お年玉クイズ
 編集後記

求められる保育の「質」

(一社)群馬県私立幼稚園・認定こども園協会 会長

原 徳 明



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。保育の量的拡大をめぐる動向の中、質の高い幼児期の教育と保育はその後の学校での学力向上はもとより、将来の所得向上など、人生にも大きく影響することが米国での研究から明らかにするなど、その重要性は国際的に教育研究者のみならず経済学者からも認知されています。

保育の質は様々な研究や議論があり、身近な子どもを取り巻く人的・物的な環境の構成から捉えてみると、まず現職保育者の役割がますます問われます。保育者は、受け入れ年齢の低年齢化や価値観が多様化する変化の激しい社会

の中で、専門職としての意識改革や知識の研鑽が求められます。保育サービストという市場原理や経済的効果の議論を超えたかけがえのない人権や生活を保障し、すべての子どもの発達と地域に根ざした保育実践を望んでやみません。

全日本私立幼稚園幼児教育研究機構では、新たに改訂された保育者としての資質向上研修俯瞰図に基づき、自分が受けた研修を記録・保存しておくための『新版研修ハンドブック』を刊行しました。AⅡ愛されて育つ子ども、BⅡ子どもと共に育つ保育者、CⅡ教育・保育理論、DⅡ子ども理解、EⅡ

保育実践、FⅡ子どもが育つ家庭や地域のカテゴリーにアレルギー対応や乳児の項目を取り入れ、さらに、経験年数に応じて①「ホップ(出会う・知る)」「②「ステップ(わかる・理解する)」「③「ジャンプ(創り出す・家庭、地域や社会全体に広げる)」と位置づけています。保育者自身の研修履歴を残し、幼稚園・認定こども園などの設置者にとつても、自園の保育の質の向上のために、十分な研修を受講しているかを、外部に証明するための資料(第三者評価等)として有効に活用していただきたいと思えます。

祝平成二十八年 新春に寄せて

新年のごあいさつ

群馬県総務部学事法制課長

半 田 良 幸



新年あけましておめでとうございます。群馬県私立幼稚園・認定こども園協会の皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、私立幼稚園関係の皆様には、大変お世話になりました。学事法制課長に着任以来、各種研究会や会議等で、多くの先生からお話を伺い、幼児教育の状況を拝見させていただく中で、皆様が幼児教育に並々ならぬ情熱を注がれておられることに改めて敬意を表します。

昨年は、4月から「子ども・子育て支援新制度」が開始されました。開始直

前まで新制度の詳細が把握できない中で、スタートとなったため、新制度に移行された皆様にとりましても、幼稚園経営への影響を把握しかねていらつしやつたのではないかと存じます。これは県でも市町村でも同様な状況にあります。学事法制課としても、こども未来局と連携しながら、円滑な実施を図られるよう年度末に向けての業務を進め、またこれから新制度に移行されることをお考えの皆様も含め、新制度が円滑に実施されるよう努力いたします。

昨年末では、土のない東京で暮らしていましたが、地元に戻って生活して

と、自然に恵まれた群馬県は、やはり素晴らしいと実感しています。この恵まれた環境の群馬県で、質の高い幼児教育がなされることが、園児一人ひとりの健やかな育ち、人間形成の実現に向け重要な役割を果たされると思えます。伝統的な幼稚園制度においても、新制度においても、将来を担う子ども達のために、幼児教育の充実・発展を願う点は一緒です。群馬県私立幼稚園・認定こども園協会の皆様には、今後とも御尽力をいただければ幸いです。

本年もよろしくお願い申し上げます。

研究指定園 公開保育

「幼児期の思いやりを育てる 園内研修の在り方」

～幼児の心へ働き掛ける保育～

(認)元総社幼稚園にて開催

とき 10月21日

公開保育に参加して

(認)いずみ幼稚園 上原ひろみ

「幼児期の思いやりを育てる園内研修の在り方」～幼児の心へ働き掛ける保育～というところで、元総社幼稚園では、ある場面の記録を通して職員間で問題や課題を共有し、それぞれの見方で自由な話し合い、研究を進めてきたとの事でした。

当日、年長児クラスではさつま芋掘りの印象画を画面いっぱい表現していただきました。子ども達に問いかけながら気付きを引き出し、みんなで一段階ずつ丁寧に色を付けてい



朝の遊びの時間で砂遊びをしている子ども達

く様子を見せて頂きました。日頃の保育の中でも友達との存在を意識し、多くの事柄に気付けるよう、声掛けを大事に心掛けていくようです。



午前のおやつを食べている1歳児

一つでも多くの感情や状況を共有し、友だちとの絆を深める環境を設定することが重要であることを改めて感じることができました。更に人を思いやり感動する心を育てるため触れ合う経験を増やすことも努力していきたいと思えます。

また、大妻女子大学の柴崎正行教授より、「保育の質とは、園内研修にある」というお話を伺いました。問題や課題が生じたら速やかに検討し、柔軟に対応できるシステムが園内にあるという事が必要との事でした。大切な乳幼児期の子どもの心を安心して預けて頂けることが重要であります。そのためには職員全体で課題の共有や資料等を活用して、保育者一人ひとりが常に向上心を持って資質を高め、より良い方向性を見いだす園内研修を大事にしていきたいと思えます。

公開保育・研究発表に携わって

(認)元総社幼稚園 主任 梅山 和美

今回貴重な経験をさせて頂きありがとうございます。園にとっても職員に

とても初めての公開保育でした。

当日は朝の自由遊びから季節の製作、触れ合い遊び等、学年によつて異なる保育を見て頂きました。



真剣な表情で絵描きに取り組む様子

した。大勢の先生方をお迎えし、普段とは違う環境の中、一番緊張し戸惑っていたのは私達保育者で子ども達は広がった世界に目を輝かせながらも、いつも通り活動し、成長した姿を見せてくれました。

テーマに沿って研究を進めて参りましたが、新人を含め経験の浅い職員ばかりで進め方も分からず、大妻女子大学の柴崎先生をはじめ多くの先生方にご指導して頂きながら取り組みました。さらに、子ども達の一つひとつの場面を丁寧に語り合い、カンファレンスを重ねる事で、組織的にも学びを深めることが出来ました。また、園内研修に取り組んだことで自園・自己を見直す事ができ、園としての課題や個々の課題が明確になりました。今後子ども達の為に、職員と力を合わせて、更に精一杯頑張っていきたいと思えます。

公開保育・研究発表を終えて

(認)元総社幼稚園 園長 内田 達也

振り返ってみると色々なことがありま

した。研究課題を見いだせず、迷った日々、思うように研究時間を確保できない焦り、新制度に戸惑いを感じながら、慌ただしく月日が経って行きました。

しかし、そんな中でこそ、幼児教育の原点に立ち戻って考えなければならぬと思えました。保護者会へも公開保育への理解を深めてもらおうと協力を仰ぎました。また、今までの園内における研修体制をあらためるべく、職員の意識改革、教育課程や指導案の見直しを行い、目指した幼児像やねらいに対する手立てを職員全員が何度も考えました。

幼児期の教育が生涯にわたり多大な影響を及ぼすことはすでにご承知の通りであると思えます。だからこそ、携わる保育者(関係職員)が研鑽を積む、そのことが重要であることを、公開保育・研究発表を通して、あらためて学ぶことができました。

終わりに、ご多忙の中、参加下さいました先生方、並びに関係者皆様のご指導とご協力をもちまして、公開保育を行うことができました。職員一同、感謝申し上げます。ありがとうございました。



研究の成果を発表する元総社幼稚園の先生



子ども達に大人気のアスレチックと砂場

子ども達の元気いっばいな声が響きわたる、高崎市にある学校法人外所学園むつみ幼稚園におじゃましました。門を入るとすぐ目に飛びこんでくるのは大きな木造のアスレチック。園舎の2階に相応するほどの高さがあり、はしごやネットをつたって最上部まで登ると一体どんな景色が広がっているのだろうかと見ているだけでワクワクします。大迫力のアスレチックの下は砂場になっており、ままごとあそびや大きな山作りなどを楽しむ子ども達で賑わっています。園舎前には泥だんご専用の砂場も完備。泥だんご作りに適した土を定期的に補充しながら、子ども達が遊び込める環境を整えています。

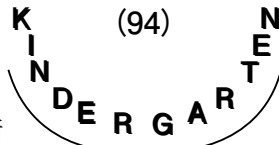


むつみ幼稚園の巻 (高崎市)

たくさんの遊具が並ぶ園庭

幼稚園訪問記

シリーズ



ています。泥だんごを作りたい子は毎日大切に磨き続け、ツルツルでピカピカに輝くとその証として、「鉄棒の逆上がり」や「タイヤ跳び」と肩を並べて賞状が贈られます。身近な素材で取り組める泥だんごから、「根気強さ」「失敗体験からの学び」、友だちや先生とコツを教え合う「コミュニケーション力のアップ」そして出来上がった時の「達成感」を大切にしています。

園の教育方針として、探求心や好奇心を膨らませて発見する喜びを知り満足感を得ること。そして自分に自信をもち、他者を認め尊ぶ心を育み、発想や言葉の豊かさにつなげていくこと。子ども自身が大好きなあそびを見つけ、保育者や友だちから認められる経験や最後までやり遂げる達成感を味わい、伸び伸びと色々なことに挑戦できるように保育を行っています。

年長組は和太鼓にも取り組んでおり、力強い太鼓のバチさばきは圧巻です。保育者の中には和太鼓の初心者もいるそうですが、若い保育者を中心となり園長から新任まで肩を並べて一緒に叩いています。

良い保育に何より大切なのは保育者の笑顔。和太鼓で培った厚い信頼関係や仲の良さが子ども達にしっかりと伝わり、園全体が温かい雰囲気包まれたむつみ幼稚園。好きなあそびを元氣いっぱい楽しむ子ども達、そして子ども達と一緒に全力で保育を楽しむ保育者。園内の至る所で笑顔が溢れる幼稚園訪問となりました。
(編集委員) 北原・中村・久保



泥団子専用の砂場では友だちと一緒に取り組んでいます



①幼稚園の先生になった理由は 中学校の授業で保育園の園児におもちゃを作って一緒に遊ぶという体験学習がありました。簡単なおもちゃでしたが、私たちが作ったおもちゃに、瞳を輝かせて遊んでくれたその表情が忘れられず現在に至っています。

②わすれられないエピソード 誕生日の日、子ども達が「先生には内緒！」というので離れてみると砂で大きなケーキを作って♪ハッピーバースデーの歌を大合唱してくれました。何気ない子ども達の愛に感動し、「頑張ろう！」と勇気つけられました。

③自園のPR 正門に桜の木が5本あります。春には、美しいピンク色。夏には、園庭の半分が木陰。夏も涼しく、子ども達は木登りや、虫を探したり夢中になって遊びます。そして、また春。美しい桜の下、新しい出会いがやってきます。最高です！

④休日の過ごし方 大掃除から始まり、天気の良い日はサイクリング。



ほほえみ インタビュー (46)

大間々南幼稚園 教諭 田村 俊江

ショッピングやお菓子作り、子どものスポーツ応援や、時には友達とランチ！ 平日に出来ない事をぎゅっしり詰め込んで、この達成感が次週の活力となります。

⑤教諭として心がけていること 毎日の保育の中で子ども達・保護者・同僚の先生から教えてもらうことがたくさんあると思います。助けられて保育できていることに感謝しつつ、子ども達のように新鮮な気持ちで保育にあたり、前向きな気持ちで楽しんでいきたいと思っています。

⑥今、気に入っておすすめなもの？ ものではありませんが、家族みんなで「体幹トレーニング」「ストレッチ」をしています。数分で出来る簡単なものしか行っていないませんが、代謝が上がって肩こりも足の浮腫みもなくなってきました。また、早朝の散歩は最高に気持ちいいです!!



幼児教育センターの 保育相談Q&A

連載 19

群馬県総合教育センター
幼児教育センター長

都丸 千寿子

Q

5歳の男児です。多動で突然大きな声を出したり泣いたり手を出したりするので、友達とトラブルになることがよくあります。ADHDではないかと思えます。今後どう接すれば良いのか、また、保護者や小学校にどのよう伝えればよいのか悩んでいます。

A

ADHDの判断は医師が行いますので、用語は慎重に使いたしましょう。診断の有無にかかわらず、保育者は一人一人の幼児のよりよい成長を保障する必要があります。ここでは、接し方、保護者や小学校への伝え方についてお答えします。

○**幼児の個性、よさを大切にしましょう。**

気になる幼児には、見通しを持たせる、視覚的な情報を活用する、個別に声がけをする、落ち着く場所を設ける等、様々な配慮があります。その上でとても大切なのは、幼児が自信を失うことなく、集団の中で生かされたり、よさを認められたりし、幼稚園が楽し

い、みんなといることが楽しいと思えるようになることです。

それが小学校以降の人間関係の基礎になります。

○**保護者に寄り添い、信頼関係を築きましょう。**

まず、幼児のよさ、成長を伝えましょう。その上で「子どもが困っている」状況やそのときの具体的な対応を伝えたり、一緒に考えたりしましょう。望ましくない行動を減らすことを視点にせず、適切な行動を増やせるよう、保護者と共に「注意」ではなく「褒めること」「具体的な指示をすること」等の支援を進め、成長の喜びを共有しましょう。

また、保護者の困り感にも寄り添いましょう。園内だけの対応が難しい時には、地域の関係機関に相談し、連携を図って保育や保護者支援を行います。

○**小学校に、幼児の様子、具体的な対応、保護者との連携の状況を伝えましょう。**

1年生の担任があらかじめ状況を把握しておく、小学校生活が過ごしやすくなります。気になる幼児の情報、個人情報に配慮して、進学先に伝えましょう。



県からのタイムリーな話題

平成17年7月に、食育基本法が施行され、10年が経ちました。

「食育」について、既に各園でも積極的に取り組まれていることと思いますが、もう一度、「食育」についてお話しさせていただきます。各園での取組や保護者への周知の参考としてください。

○**食育とは**

- ・生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの
- ・様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること

○**食育の必要性・食をめぐる問題**

- (1)健康・食生活面
 - ・子どもの孤食や欠食の増加
 - ・栄養の偏りや食生活の乱れに起因する肥満や生活習慣病の増加
- (2)食の安全面
 - ・食の安全・安心に対する関心の高まり
 - ・溢れる情報とリスクを判断する力の必要性
- (3)食料・農業面
 - ・食料自給率の低迷
 - ・食品廃棄や食料資源のロスの問題
- (4)食文化面
 - ・日本型食生活や地域の食文化の衰退
 - ・伝承を担う人材の不足 など

○**食育の取組の例**

- ・家族全員がそろって楽しく食事をする
- ・1日3食きちんと食べる習慣を身につける
- ・食事の前に「いただきます」と言う習慣を身につける
- ・箸の正しい持ち方や茶碗の並べ方など自身につける
- ・買い物の中で、新鮮で安心できる食材の選び方を学ぶ
- ・家族いっしょに料理をする

・庭や鉢植えての野菜栽培を体験してみる
※ぐんま発食育教材を活用ください！



「親子で学ぶぐんまちゃん食育ブック」

お子さんの食に関する日頃の疑問について、親子で一緒に読みながら学ぶことができる教材です。「子どものQ&A」と保護者にじっくり読んでほしい「保護者のQ&A」「ふろく」の3編からできています。WEB版もあります。

「ぐんまちゃんの食育紙芝居」

子どもが楽しみながら食に関心を持ち、食育の現場で手軽に何度でも活用できる食育教材です。「マナー編」「農業理解編」「栄養編」「朝ごはん編」をテーマにした4話セットです。「ぐんまのたべもの釣りゲーム」

群馬県の代表的な農産物や郷土料理、一般的な食材や料理などの写真207枚をカードにし、テーマに沿ったカードを釣り竿で釣り上げるゲーム。

楽しく遊びながら群馬の食べものの知識を身につけることができます。

「遊びながら食を学ぶすくすくカルタ」

食に関する内容が幅広く盛り込まれていて、くり返し遊ぶことで、自然と食について学ぶことができます。貸出し、販売もしています。

その他、「ぐんまちゃんの食育教材」として、ぬりえや食育ランチョンマットを県HPからダウンロードできます。

○**食育に関するお問い合わせ**

群馬県保健福祉部保健予防課
電話：027-1226-12427
県ホームページ
(<http://www.pref.gunma.jp/>)
05/d6210054.html



東部地区担当(認えのきども園) 河上 崇



平成23年度より広報編集協力委員を務め5年目となりました。自身自身あまり得意ではない写真や文章などに挑戦する機会をいただき、とても勉強になりました。

今年度より子ども・子育て支援新制度がスタートし、多くの私立幼稚園が変わり時を向かえていると思います。広報を通してより良い情報を提供出来ればと思います。

また、これまでに幼稚園訪問記の取材等を快くご協力いただいた園長先生方に感謝申し上げます。今後も広報発展のためがんばっていきます。

編集委員の雑記帳

広報編集委員はこんな方々です

東部地区担当(ひびつじ幼稚園) 茂木 直



この数年でスマホの所有率がほぼ100%になり、普段の何気ない情報でも多くの人と共有したり、意見を求めたりできるようになりました。便利に利用できる反面、これでもいいのかなと思う事もあります。本気で伝えたいことはちゃんと相手と会話をしして伝える事を忘れないようにしていきたいですね。黒電話を使った最後の世代より。

東部地区担当(すぎの幼稚園) 加藤めぐみ



今年度より、群私幼広報協力委員としてお世話になっております。編集や記事の構成等、読む側から、発信する側として、委員の先生方と協力し、アドバイスをいただきながら、今後も編集の協力をして参りたいと思います。初めての広報の仕事をしていただき、担当記事の準備や依頼等、未熟者ではありますが精一杯、努めて参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

中部地区担当(駒寄幼稚園) 押江恵美子



現在の広報委員の制度ができた初代編集長のひび幼稚園須田先生の下広報委員となってから今回で3度目となります。これまで駒形幼稚園根岸先生・富士見幼稚園柳先生・藤岡幼稚園山田先生など、それぞれ編集長の下企画した特集記事を書く機会もあり自由に楽しく務めさせていただいて自分なりに完結していましたので、今回お受けするのに悩みましたが、広報に風を吹き込めとの神様からの思召しと思いお受けしました。東風吹かせます。

中部地区担当(認清心幼稚園) 栗原 啓祥



再びこの欄に登場させていただくことになりました。今期もよろしくお願ひします。さて、広報誌は173号を数え、これまでの本協会の活動の歴史を記録する重みを感じています。歴代の編集委員、ならびに会員の皆様のご協力によってつなげられてきたこのタスキ。微力ですが、先の駆伝のようにつなぐお手伝いができたらと思っています。今後も紙面充実のため、お力をお借りすることが多々あると思いますが、その際は快くお引き受けください！どうぞよろしくお願い致します。

西部地区担当(櫻丘幼稚園) 北原菜美子



広報委員を務めさせて頂いて2期目となりました。いろいろなアドバイスをもらいながら頑張っています。広報委員にしかできない体験もたくさんありとても勉強になりました。学んだ事も日々の自分の保育に役立つようにしていきたいと思っています。2期目も精一杯務めさせて頂きまますのようしくお願ひいたします。

西部地区担当(高嶺福祉会附属幼稚園) 中村 舞衣



今年度より広報委員として活動させて頂いた、だくことになりました。初めての経験ばかりで不安ではありますが、頼もしい先輩方に多くのことを教わりながら、少しでも力になれるよう一生懸命頑張っています。皆様ページをめくるのが楽しみにするような群私幼広報をつくっていただけらと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

西部地区担当(安中葉幼稚園) 久保紗綾香



安中二葉幼稚園の久保紗綾香です。現在、満3歳児クラスを担当しています。初めての幼稚園生活で分からないことが多かった子ども達でしたが、今ではほとんどの子がおむつからトレーニングパンツになり、食事も残さず食べられるようになった姿に成長を感じています。子どもと一緒にできるようなったことを喜び、ちょっとした発見を楽しみながら日々の保育に取り組んでいます。今回、初めて広報の編集に携わることになりました。他園へ取材させて頂ける貴重な機会なので、自分自身の学びにも繋げながら、様々な園の良さや情報などを分かりやすく記事にできたらと思っています。これからよろしくお願ひいたします。

中部地区担当(認山幼稚園) 関口 智行



今年度から広報編集委員になりました。山王幼稚園の関口です。広報の取材で様々な園へ行き園長先生から何う建学の精神や、新しい広報のアイデアを出し合う過程で群私幼の歴史に触れることが私にとって新鮮で学ぶことが多いです。これから魅力的な幼稚園や先生方にお会いできることが楽しみです。その感動を読んでいたただける先生方に少しでも伝えられるようがんばりたいと思います。

共愛学園幼稚園

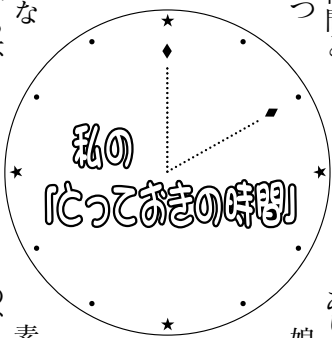
園長 白石由紀子

私には、10年近く続けている日課があります。それは朝晩の散歩です。雨が降っても、雪が降っても欠かした日はありません。私一人では、このように長く続けることは出来なかつたでしょう。一緒に歩いてくれた娘のお陰です。

その娘は我が家に来たのが、ちょうど10年程前のことです。娘の名は「ハッピー」。ずっと長いこと、自分人間だと思っていたような犬です。犬だと自覚して、犬の仲間と遊ぶようになったのはつい最近の事。犬種はミニチュワシユノウサー。

日没が早く日の出が遅くなる初冬が、寒さに身体が慣れず、ちょっとときつい散歩の季節なのですが、仰ぎ見る夜空には星々が冴え渡り、なぜか身体が凜としてくから不思議です。又朝は、まだ日が昇らぬ中を歩き出し、東の空が白々と明るくなり光がオレンジ色を増してくるや否や、太陽の輝きが金色の光を解き放ちます。その様は思わず足を止めてしまう程見事で得をした気持ちで朝が始まります。

春は穏やかな風を受け桜や足元の草花を愛で、夏は緑の木々の木漏れ日を身にまとい心地よく、秋は色とりどりの落ち葉の舞いと虫達の合唱を聞き、冬は吹く木枯らしに立ち向かい、それでも家々から毀れる明かりの営みと、その温もりを懐に入れ



想像の翼を膨らませます。このように散歩を通して四季折々の豊かな恵みを目や耳で楽しみ、心で感じる素敵な時間を味わっています。

私にとってこの時間は、自然との語らい自分を取り戻す時間であり仕事と私生活を切り替える貴重な時間と言えるでしょう。また子育てをやり直し再挑戦している私の姿がそこに在ります。その上餌の準備を整えて娘を待つてくれる男性も娘には居ます。犬友や散歩仲間も沢山できました。時には井戸端会ならぬ朝食ビクニツクのテーブルを囲むことさえあります。土曜日や日曜日は

娘の方がちゃんと心得ていて散歩コースの変更や時間を延ばしたりして、じっくり双方での散歩の楽しみを共有しています。背負っている看板や背伸びしている自分から開放されるの、私の「たっぷりおきの時間」になっていきます。



研修だより

新規採用教員研修会 後期 I

とき 10月22日
ところ 高崎商科大学佐藤幼稚園

認定富士こども園富士幼稚園

原島綾子

これまで他園の保育を見るという機会はありませんでしたので、当日を心待ちにしていました。教室の中を見渡すと年齢に応じた色とりどりの季節の製作が目に入り、子ども達もワクワクするだろうと感じました。主活動は3歳児クラスの「落ち葉で紅葉を作ろう」を見学させて頂きました。はじめは、大きな紙に拾った葉をそのまま貼り付けるのかな？と思いましたが、実際には葉をちぎり、葉の形に切っておいた好きな色の画用紙に貼り付けていくという内容で、あっちの葉がいいな、こっちの画用紙がいいなどととても楽しそうな様子が伺えました。乾くのを待つ時間を短縮でき、貼るだけでなく剥がすことを楽しめるなど、考慮した上での両面テープを使用するなど、新しい発見もさせて頂いていただきました。



した。子ども達が1つの製作を楽しむ為に、葉を拾いに行ったり、葉や紅葉についての本を借りてきたり、と保育者の環境構成がとても大切だと感じました。今後の保育の糧とし、活かしていきたいと思えます。

教育課程研究協議会 II

とき 10月26日
ところ 県総合教育センター

平成27年10月26日(月)群馬県総合教育センターにて、第2回群馬県幼稚園教育課程等研究協議会が開かれました。今年度の協議主題に沿った各園の研究内容について4〜6園ほどに分かれ班別協議を行いました。今回は各園の教育課程の他に、長期指導計画と短期指導計画等を資料として持ち寄りました。普段なかなか他園の教育課程や指導計画について知る機会が少ない為、貴重な研修となりました。

それぞれの園での保育の実態や悩み、また指導計画について発表し合うことで新たな保育観に触れることが出来、悩みに対しては共感の声も多く聞かれました。そのような班別協議で挙げた意見に対し、指導助言者の先生方が助言をして下さいました。教育要領と各園の教育課程を照らし合わせ、そこから外れない保育計画を立てることの大切さや日々の記録を指導計画に生かしていくこと、また多面的な視点で子どもの姿を捉える必要性など、保育の基本となる部分を再認識する機会となりました。(編集委員/中村)

第一次設置者園長研修会

と き 11月16日
と ころ ホテルメトロポリタン高崎

今年も同会場にて宿泊無しの設置者園長研修会となりました。

朝10時から17時半まで、長時間の研修会でしたが、皆さん熱心に今後の園運営に大切な講義を受講することが出来ました。内容は次の様になります。

【午前】

開会式、指導及び連絡（学事堀口様より）、諸報告と経営上の情報交換を実施

（総務部・研究部・経営振興部より係より）

【午後】

昼食を挟みビデオ視聴《マイナンバー社会保障・税番号制度が始まります》

講演① カタチ変われど、みな幼稚園講師 全日本私立幼稚園連合会認定 こども園委員会委員長

森迫建博様

講演② 幼児教育の原点を求めて 講師 全日本私立幼稚園連合会

会長 香川 敬様

森迫先生の講演は、今年度から始まった新制度について豊富な資料を基に自園での実践例を交え判り易くとも参考になりました。



講演について講された森迫建博先生



幼児教育の原点について講演された香川敬先生

香川敬先生には、改めて幼児教育の大切さを三つの役割を基にとっても楽しくお話ししてもらいました。また、我が国の幼児教育界に先駆的な役割を演じた松野クララのお話しや、NHKで放映された《花も燃ゆ》について上州（群馬）と長州（山口）との関わりをひも解いて講演して頂きました。

（副編集長／小林）

群私幼研究委員研修会

と き 12月25日
と ころ 県公社総合ビル

平成27年12月25日、群馬県公社総合ビルにて、研究委員研修会が行われ、5領域の「表現」について学びを深めました。

育英短期大学の柳晋先生から、領域「表現」の変遷の歴史と、保育との総合性について。和洋女子大学准教授 島田由紀子先生から、幼児の造形について、新聞紙などの身近な素材を使って楽しく展開していく実技や、子どもの興味・自信が湧く工夫を学びました。また、和洋女子大学助教の駒久美子先生からは、幼児の音楽教育、幼児のつくる・幼児とつくる音楽の世界について、映像や、手作り楽器を使つての実技講座を受け、遊びを通しての音楽活動の実践を教えていただきました。

新春 お年玉クイズ

問題1 次の□に入る数字はなんでしょう？
張+弛=2 綱+常=8 紘+宇=9 思+思=12
では、
羊+牧=□

問題2
A、Bに入る図形とCに入る数字はなんでしょう？

○<◎<○<◎<○<A<B
○+○=11
◎+○=15
A+B=C

【賞品】

・2問全て正解の方から抽選で1等10,000円QUOカードを1名様、2等3,000円QUOカードを5名様にプレゼントします。
なお当選された方には、2月24日開催の第二次設置者園長研修会の折に、園長先生に賞品をお渡ししますので、園の方でお受け取り下さい。
奮ってご応募お待ちしております。

広報編集協力委員一同

〈応募方法〉 メール又はハガキに①氏名②園名③園住所④答え⑤広報「群私幼」の感想、以上5項目をご記入の上、メールの方はgunshiyu@basil.ocn.ne.jpまで、ハガキの方は群私幼事務局(表紙に掲載)まで。

〈締め切り〉 2月10日(水) 当日消印有効

〈正解〉 174号の紙面にてお知らせいたします。

編集後記

今年新春お年玉クイズの景品と金額を少し変更し、当選本数は少なくなりましたが、景品をQUOカードとし、1等の金額を増額し、10,000円(1本)2等3,000円(5本)にしました。
前回まで図書カードでしたが、QUOカードであれば図書以外にもコンビニやドラッグストア・ファミレス等でも利用できるため、普段の生活において気軽に使えると思います。

当選については毎年抽選にて決定しておりますが、例年ですと応募数が少数のため、かなりの確率で当選しております。本数が減つたため当選確率は低くなるかもしれませんが、ぜひ問題を解いていただき応募してみてください。(高月/記)

■次号174号は、平成28年3月25日(金)に発行予定です。



新聞紙だけを使用して、タワー作りに挑戦